

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

## 事業名 レッドデータブック改訂調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生物多様性係 電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,909 千円 (前年度予算額： 3,909 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,909	0	0	0	0	0	0	0	3,909
要求額	3,909	0	0	0	0	0	0	0	3,909
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

レッドデータブックは多くの公共事業における環境影響評価の指標であり、データの改訂作業は、自然環境の変化を的確に反映させるよう可能な限り短い周期(概ね5年ごと)で改訂し、的確な保護施策を実施することが望ましい。次期改訂に向けた現地調査や文献調査等を、経常経費の中で、継続的に実施して行く必要がある。

### (2) 事業内容

平成13年度に県が発刊した「岐阜県レッドデータブック(動物編・植物編)」について、自然環境の変化に応じて最新の知見を反映させた改訂版を策定する。平成18～25年度に一次改訂を終了したため、平成26年度、二次改訂に向けて、岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会を設置した。

今後は、各部会における現地・文献調査の結果から、候補種ごとにカテゴリー判定を行い、委員会の審査を経て、二次改訂版のレッドリスト及びレッドデータブックを作成する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県の環境保全事業の基礎資料となるため、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	336	委員会・専門部会開催にかかる報償費
旅費	132	委員等費用弁償、打合せ等
需用費	39	調査員腕章等消耗品
委託料	3,399	専門部会等への文献・現地調査委託
使用料・賃借料	3	会議室使用料
合計	3,909	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

第6次岐阜県環境基本計画 基本施策3 (3) ○希少野生生物の保護  
生物多様性ぎふ戦略 3-1. 生物多様性に関する普及啓発

#### (2) 後年度の財政負担

平成13年度の初版の発刊以降、約10年が経過した時点の一次改訂により、初版に比べ生息情報等の集積が進んだこと等により掲載種が増加し、動物編では119種増加した330種、植物編では364種増加した553種となった。県の希少種保護事業の推進のため、引き続き二次改訂に向けて事業を継続する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県に生息する野生生物の現状について、生息状況用の調査を行い、絶滅のおそれのある野生生物種を選定・評価することにより、地域の自然特性を明らかにし、保護と開発のバランスのとれた公共事業等の計画策定や的確な保護施策の実施を促進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

レッドデータブックの調査研究の過程では、定量的な計測ができないため

### （これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、二次改訂に向けた基礎資料を作成し、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を行った。</li> <li>岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会を開催し、改訂に向けた素案の検討を開始した。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物編については、リストの公表に向けて精査を実施。</li> <li>植物編については、対象種が膨大なため、基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を継続中。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	レッドデータブック(レッドリスト)は、治水、治山、道路整備等多くの公共事業における環境影響評価の指標となり、大きな影響力を持つ。また、市民団体等の環境保全活動の基礎資料となっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	平成13年の初版の発行以降、約10年が経過して一次改訂を行った。生息情報集の集積が進んだこと等により、初版に比べ、動物編では掲載種が119種から330種に、植物編では掲載種が364種から553種になった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	専門団体へのレッドデータブック調査・原稿作成委託を行うことにより、経費を抑制している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 レッドデータの改訂作業は、自然環境の変化を的確に反映させるよう可能な限り短い周期(概ね5年ごと)で改訂し、的確な保護施策を実施することが望ましいとされており、今後も次期改訂に向けた現地調査や文献調査等を、経常経費の中で、継続的に実施して行く必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県レッドデータブックの二次改訂版の作成を進める。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】